



平成28年10月14日

校長室便り



文責 小川小 福本憲穂

【後期スタート 始業式10月11日（火）】

10月7日（金）に前期終業式を行い、11日（火）から後期がスタートしました。この半年、「熊本地震」災害、続く余波の中、子供達は、よく頑張りました。4月からの全員出席日数も14日間となりました。また、10月2日（日）に開催しました運動会もとてもよくできました。その中で、PTAには、本校教育の推進に関しましてご理解と多大のご協力を得ました。ありがとうございました。また、後期も共にお子さんの成長のために頑張って参りましょう。

始業式では、『実りの秋』に自分の力を発揮させ、その成果（実）をもって、それぞれの学年の卒業（3月）を目指して頑張らしましょう。」と挨拶をしました。また「その中で、必ず、今よりももっと『かしこく・たくましく・やさしく（校訓）』になっていきます。それを成長する、と言います。大きく成長しましょう。」そして、そのために、大事なこととして、一番短い論語『今、女画（今、なんじ、かぎれり）』を紹介しました。これは、孔子先生のお弟子さんの一人が、先生のようにとはとてもなれませんと弱音を吐いたときの先生の言葉です。つまり、「いま、あなたは自分で自分の限界をつくっている。一生懸命頑張れば、人は必ず成長します。あなたも自分の成長を信じて頑張っていくことが大事です。」との意味です。1年森田さん、2年後生川さん、3年岩本さん、4年水永君、5年迫田君、6年宮崎さんが学年代表として、後期に望む抱負を発表しましたが、自分からのあいさつ、苦手な事への挑戦、好きなことをもっと頑張りたいとのことなど、それぞれにとってもいいもので、やる気にあふれ、嬉しいことでした。

運動会（10月2日（日））・・・準備・片付けもお世話になりました。



絶好の秋晴れに恵まれ、無事盛会裏に終わることができました。子供達も精一杯の演技、競技、活動ができ多くのことを学びました。お家での体調管理など有難うございました。来賓・地域の方々にも多数お出でいただき応援、励ましをいただきました。



児童会では、地域を励ましたいと「**地域を笑顔に 運動会 元気とパワーで 走り込め！**」とのテーマを掲げて望みました。6年生を中心に、猛暑の中に短期間で、よくやりきったと拍手を禁じ得ませんでした。地域との「肩もみ・手もみ、ふれあい活動」、入学と卒業の年ということで復活させた1年、6年の親子技巧走も、普段と違った親子のふれあいができ、微笑ましいひとときでした。今後の笑顔の種ともなり、咲いていくことと感じました。



<2年学級通信より（白川先生から）>

「ダンスのとき、「今日で「光のシグナル」を踊るのは最後だよ。」と言うと、子供達は寂しがっていました。～見上げた青い青い空の向こうは新しい明日が待っている（歌詞）～、今日の運動会は、特別に素敵な思い出の1ページになりました。いつか「光のシグナル」を（また）みんなで一緒に踊りたいなあと思っています」

【大変お世話になりました】

前期開催の「地域教育懇話会」で、正門前の側溝のフタのすきまに、劣化で大きくなってきたものがあり、足を突っ込まないか心配との声が出され、学校そばの福永さんに面倒見てもらっていました。先日、民生委員さんからもお話しがあったところ、平田区長さん、濱田さん、福永さん、東さんが、木々を加工して埋めてくださいました。熊本地震後の復旧が諸処に完遂できない中、大変ありがとうございました。お陰もあり、後期始業式の朝の子供達の挨拶の音が、大きく戻ってきたようにも感じます。また、運動会前等のPTA役員有志の皆さん、地域有志の皆さんによる校内環境整備にも重ねて感謝申し上げます。